

福智町商工会合併協議会が発足 商工会の一本化に向けて

福智町商工会の発足を目指す初の協議会が、8月2日に金田町商工会館で開かれました。旧3町の商工会や行政から25人の委員が出席し、会長に並川勝美・金田町商工会長を選出。方式は対等合併とし、名称は福智町商工会、期日は2年後の平成21年4月1日にすることが決定しました。今後、組織・財政・事業の3部会で詳細が協議されます。



第1回目の合併協議会、新会発足で会員数約600人の商工会が誕生します。

地域のかたと相談しながら、グラウンドに生えた草を集める上野小1年生。



上野小グラウンドでボランティア清掃 運動会に向け 地域と老人会が協力

「きれいなグラウンドで競技して欲しい」と、上野地区区長会と老人会の呼びかけで、運動会を前にした清掃活動が行われました。9月6日に40人が上野小に集まり、全校児童122人とともに作業をしました。グラウンドの草取りのほか、敷地内の樹木のせん定なども行われ、清掃後はすっきりとした校庭で、児童が元気に駆けまわっていました。

心のこもった年長園児の肩もみ、うれしさと心地よさで笑顔がこぼれました。



金田保育園お年寄りとの交歓会 感謝の気持ちを小さな手に込めて

金田保育園の園児たちが心待ちにしていた「お年寄りとの交歓会」が9月21日に行われ、年長園児の祖父母と地元金田3区老人会のみなさん35人が招待されました。園児の歌や踊りなどのレクリエーションのあとは「いつまでも長生きしてね」と、日ごろの感謝の気持ちを込めた肩もみ。子どもたちの小さな手から、真心が伝いました。

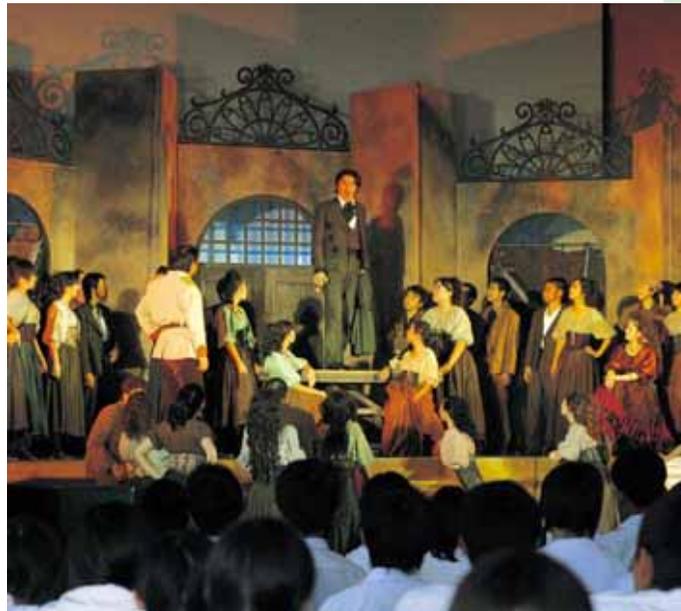
親子で楽しむイベント 人形の動き親子で追いかけて

親子で感動を共有した「親子で楽しむイベント」が、9月7日に地域交流センターで開かれました。実行委員会の主催で「人形芝居かすべる」を招いて公演。「おむすびころりん」のユニークな人形劇が展開され、子どもたちも挿入歌と一緒に口ずさみました。約400人の親子連れが来場し、ステージ上の人形の動きをじっと追いかけていました。



とても3人の手だけでは思えない数の多彩なキャラクターが出演。

金田中で選ばれた3年生16人が舞台用の衣装とメイク装い共演した「第二幕の酒場」のシーン。



金田中芸術鑑賞教室 体育館にオペラがやって来た

優れた舞台芸術に触れる機会を提供する「文化庁本物の舞台芸術体験事業」が9月18日に金田中体育館で行われ、アーツ・カンパニーの38人(出演者22人・スタッフ16人)によるオペラ「カルメン」が公演されました。舞台で繰り広げられる本物の迫力や臨場感にまさに圧巻。観劇した生徒や先生、保護者らは「オペラってすごい」「やっぱり違う」と一様に感嘆の声を上げていました。「ブラボー(いいぞ)のかけ声と惜しみない拍手が、300人が感動した会場全体に鳴り響いていました。

町内全中学校で職場体験学習 将来の夢にはじめてのチャレンジ

働く人の苦労や努力を間近に体験し働くことの大切さを学ぶ町内3中学校の職場体験が、8月22日～31日に町内外の各事業所で行われました。生徒たちは消防署やコンビニ、保育所、温泉など、自分で希望した幅広いジャンルの職種で労働を体験。汗を流して働くことの厳しさや楽しさを体で覚え、社会人にまた一歩近づいた様子でした。



平成筑豊鉄道の車両点検をする金田中学校3年生、安全を担う真剣な作業。

開場前の最終確認、作品配置も親子作風の調和に欠かせない要素です。



上野焼 渡久兵衛・仁・親子展 百貨店で渡父子初の作品展

渡瀬の久兵衛さん仁さん親子による初の作品展が、9月19日からの7日間、小倉井筒屋で開かれました。古上野を追求した茶陶や新作など、およそ100点が並ぶ会場で「念願の親子展、皆様に感謝の気持ちでいっぱい」と、久兵衛さんが喜びの表情を浮かべました。また、特設のお茶席では、小笠原古流の菊谷水月さん(赤池)がお手前を披露しました。